



発行 御殿場十字の園
御殿場市深沢
印刷 岳麓印刷(株)

明るい太陽と

おいしい空気のもとで

御殿場十字の園が誕生いたしました。信頼され、助けられ、励まされ、勇気づけられて。富士山と箱根外輪山を庭園とする眺望絶佳の、六、八一三平方メートル(二、二四八坪)の敷地に、鉄金コンクリート造平屋建一、四四四四平方メートルの斬進なホームが建てられたのです。居室はすべて南向き、北側には部屋を設けないことにしました。窓の開口部を思いきって広くとりました。真冬でも部屋一杯にさし込む太陽で窓側のおとしよりの顔の半分が真黒に日焼けするほどです。清浄な太陽と空気が一杯の深沢の里に、おとしよりと職員は日々どんな生活をおくっているのでしょうか。在園者五二名の中、

四〇名、これは全体の七六%にあたりますこの方々は歩行不能で寝たきりです。(脳卒中などの後遺症によるものが多い)大それと同数位の方々には失禁者(大小便たれながしの状態を言う)です。これらの方々には、おむつを使用もしくは、尿器便器を併用しております。おむつは一日八回交換し、一回の枚数は八枚位です。したがって、一日のおむつは二、五六〇枚の多きにのびります。言語障害者は全体の二・五%、全盲者七・六%、殆んど全員が何らかの医療行為にあづかっております。これらの看護及び介護にあたっては、看護婦は、五〇対一、介護にあたるものを寮母と呼んでお

りますが、五対一の比率で国が定めております。けれどもこれは苛酷な配置基準で、この結果一方では寮母、看護婦に過重な労働をしいることとなり、他方ではおとしよりへのサービスに欠けると言う現象がおこってまいります。即ち、おとしよりの話し合いの時間が少い、おむつの交換の回数制限され、よくさうの原因をつくり出す。作業療法、機能回復訓練などの指導に欠ける等が生じてまいります。以上のようにおこってくるであろう事象を最小限にいくとめるべく、当園では看護婦を二名増の三名にし寮母のおぎないに当てております。国の配置基準で認められていないけれど、当然配置されねばならないものとして栄養士一名、調理士一名、事務員一名、ボイラーマン一名それぞれに増員しており、総員二三名で基準人員十八名に対して五名の増でなんとかまわしております。



ラムネ飲み競争
(若き日を思い出して、
ゆっくり飲むラムネの味)

人間よりも、経済を優先する国柄から一日も早く脱皮されんことを願わずにはおられません。さて在園者の望みはもう一度社会復帰をしたい。それが無理なら、家庭復帰それもかなえられないならば、せめて生活復帰ができないだろうか、と朝ごとに繰返す。リハビリ体操。皆さんお早うございます。今日は十一月二三日(火曜日)勤労感謝の日です。外を眺めて下さい。雲一つない素晴らしいお天気です。さあ窓を開けて、元気に体操をいたしましょう。まづ深呼吸をいたしましょう。大きく胸一杯に吸い込んで下さい。眼のあけとじを。口を開ける。歯をかみしめる。頭をもちあげる。手指の曲げのばし、だんだんにむつかしくなり、最後の種目は

足で天井に輪をかく、これは大へんこたえる(この種目ができる人は少い)十六種目が組込ままで行なっております。これらの体操は、機能退化防止と残存機能の維持に大きな役割を果たしていると思われます。家庭にあつたときは、寝たつきりだったSさんは、入園してこの体操に励んだその報いは大きかった。ベット上に座ることが可能になりさらに床に立つことができ、便所へもゆけるようになりました。日増に衰えようとする肉体と精神にもう一度たくましい生えの意欲が盛りあがってき、暗黒が光明に変わり、容姿も一変し、輝きに満ちてまいりました。座することも立つことも、勿論歩行することなど、夢と思っていたことが、今ここに実現したので。と思うと私など不問な存在者と投げていた人生が、もう一度有用な存在と変ったことの喜びを本人はもとより、これを助け、みまもってきた職員の顔にも明るさがまわってゆくのです。

園長 鈴木生二

市民社会と社会福祉

その二

社会福祉事業の根拠

西村 一之

社会福祉国家という国のあり方を目標に社会の仕組をかえようとした最初の国はイギリスである。有名な「揺籠から墓場まで」の標語もイギリスでつくられた。労働者のために社会福祉に関する最初の法律をこしらえたのはドイツである。イギリスに始まった精神をとりいれて、一八八三年、疾病保険法を、翌八四年、災害保険法を、八九年、老人ならびに傷病保険法を定めた。一八八三年は日本では明治一六年にあたる。

今日、社会福祉が最も進んだ国はこのほかオランダ、スイス、それにスウェーデン、ノルウェー、デンマークである。クイズみたいであるが、これらの国々に共通する特徴を二つあげてほしい。普通の日本人は判らないと思う。一は、プロテスタント、キリスト教が国民の精神と道徳の土台になっていることである。他は、スイスとドイツを除いて、王様や皇帝がいることである。(ドイツも一九一八年

まで在位していた)。この二つと社会福祉とはたして関係があるのか。

一について

仏教、ヒンズー教、マホメット教、キリスト教でもカトリックが支配している民族や国々では、社会福祉の考え方も実際も生まれてこなかったし、実際も全くない。(実際面では、西ヨーロッパのカトリックの国々フランス、イタリア、オーストリア、ベルギーは、今日、プロテスタント諸国と同等になった)。なぜであろうか。仏教、ヒンズー教(インド)、マホメット教では人生は運命や因縁に支配されているから、幸、不幸はあきらめるほかはない、人間の身分階級、貧富の差も前世の宿業によつてきまるので、しかたがないと教える。そこで、病氣、老廢で苦しむ人々、孤児達を博愛の心で助けるのは、それを行なう人自身が功德を積んで、来世における自分の救いに役立てる

ためという教えが生まれた。この点では、カトリックも同じであった。つまり、ひとは良い行為つまり善意の業をしなければ救われないと教えた。ここから次に生まれてくる考え方はこうである。身分の高い人、富裕な人のうち特別に博愛心の厚い者が、自分の後生の救いのために、身銭を切つて、ひとがいやがる苦勞をいとわずに、身分の低い人々の不幸を助けるということである。これがだれでも知つている、これまで行なわれてきた慈善事業、社会事業である。

プロテスタント、キリスト教は、人生が運命の力で支配されているという考えが間違つていて、救いを教えた。人が罪業から救われるのは、キリストの贖罪に現われた神の愛の力を信頼するだけでよいのである。したがつて、救いのために功德は必要でない。身分、才能、貧富、性の別なく、人はすべて神の聖前に罪人であるし、救われなければならぬものとして平等である。そして、神の愛とめぐみは万人に平等である。ここに基本的な人権の根本が成立つ。



一八世紀まで西欧でも国民の九〇パーセントは農民で自給自足の生活をしており、ほとんどが格差のない生活をしてきた。一九世紀になって、工場工業が始まり、資本主義と結びついて、労働者というものが出現し、失業、傷害、貧困など、社会問題が生まれた。これに対して二つの思想体制が解決のためにでてきた。一は、マルクスによる共産主義革命であり、他は、プロテスタントによる市民社会と社会福祉の形成であった。このうち第二の道を切開いたのが、イギリスを先頭にしたプロテスタント諸国であったのである。人格

の平等を自覚した市民達が自分達の社会を自分達の責任と努力で造り、自分達の人生を協力して守つていこうとしたのである。ヨーロッパ市民社会の基本には、次の聖書の教えがある。「それぞれの肢体が互いにいたわり合うためなのである。もし一つの肢体が悩めば、ほかの肢体もみな共に悩み、あなたがたはキリストのからだであり、ひとりびとりはその肢体である」(一コリ二・二五―二七)。

(次号に続く)

(十字の園理事)



バザール
(オシルコ屋サン オーイソガシ)

秋季大運動会

林 富美子

「十月十二日には運動会をいたしますので、どうぞ御参加下さい」園長のものやわらかな宣言を耳にして一寸面喰った。

「職員のですか」「いいえ老人達のです」パラリンピックと言うのは聞いたことがあるが、ねたきり老人の運動会とは前代未聞のことである。外はニクソンショック、内はペンダサンショック、更に十字の園は運動会開催宣言ショックである。それでもこの日がまたれた。

当日は小雨であったが、天候などに左右される会場ではない。訓練室と職員食堂をぶつづけけた会場に万国旗が張りめぐらされ、「アメリカンパトロール」「旧友」などマーチ曲が流れていた。寮母達の押す車イスで選手達が乗りこんで来る。ベットのままの二人の選手は勇壮この上もなく思わず拍手が起った。大会委員長鈴木生二園長の挨拶、ついで田中幸次郎氏の選手宣誓があった。太い杖に身体を支え、舌のもつれの気づかれぬ

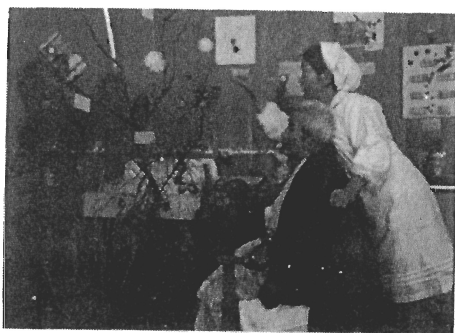
程に、「吾々は第一回秋季大運動会をするにあたり、終始愉快に、楽しく参加することを宣言します」大変に重量のある洪い声で、立派な宣言であった。拍手は惜しみなく送られた。

ブルーのユニホームに笛を胸にさげた森本寮夫の号令で準備体操に入る。毎朝の「十五分体操」の成果の現われか、爪先運動、首の運動と却々調子が好い。スプリンレース、ラムネ飲みではベットの上的フデ女史が一番であった。何事も落ちつくことが肝要である。パン喰い、紅白對抗のバトンリレーでは、職員の方が気が狂った様なさわぎである。やがてプログラムも表彰状、賞品授与、副委員長横山事務長の閉会宣言で終りとなった。「あなたは第一回秋季大運動会に於いて頭書の成績をおさめたのでここに表彰状を授与し、ながく栄誉を讃えます」静かな声が何時までも耳に残って消えない。

天国とはこう言うものでない

かと思った。ピッコでもチョンでもいい己が馳場を忠実に走り、この世の道程の終りに於いて、「あなたは頭書の……」と主キリストから御声をかけられる日のことではないだろうか。老いのことのない詩の一行のように、人生の重い荷を背負いつつも、記録し、記録し、記録し、なおも記録しつくせぬものを、私共は毎日の職場に於いて記録しなくてはならないと思う。

(御殿場十字の園医師)



(作品展示 ホーラスバラシイジャンイノ)

第一回作品展示会

十字の園の玄かんに入つてすぐの診療室の前に「第一回作品展示会」と書かれてある。

ドアをあけて中に入るとすぐに「秋」を感じさせる静けさがあり、お年寄りの思いと職員一人一人の思いが強く感じられるようであった。

半身不随の身で、左手で書かれた書、足で書かれた書、はがきに書かれた富士八景、枯れ葉の中に静かにおかれている馬小屋、柿の木がおかれ、すすきがおかれ、中央にはテーブルとイスがおかれてあり、それらのところに、作品が静かに飾られてあった。仲々一人では作り上げることの出来ないお年寄りである。作品を作ることを促すまでには容易なことではない。あつさりといやだよ、手が痛いからやりたくないよ、との返答である。そんなにしつつこく言うなら、ここを出ていくよ」と言われた職員がいるという。

職員は何んとか努力してみるのだが、仲々やる気になつてももらえず、職員の方が疲れを覚えてくるのである。

そんな疲れの中に、先ず職員が積極的に学び、積極的にお年寄りの中に入って行くべきことを痛感させられたのである。

静かに飾られてある作品をみせるために、お年寄りを車イスにのせ、ストレッチャーにのせて、展示場へ案内し、説明も加えている内に、静けさの中に明るいほほえみが流れていた。

可愛いぬいぐるみのイヌをみて「私も来年は作りたいたいよ」と一人のお年寄りが口ずさんだことを覚えていた。

少数の作品の中から、効果の大きさを喜ばずにおれない思いであった。作り上げてゆくことに、喜びがあり、楽しみがあり、希望も生まれ、お年寄りとの職員のこころのつながりも強く、美しくなつてゆくのかも知れない。

美しいものが流れ、明るいものが流れる。うるわしい十字の園が築かれていくのである。

夕暮れになつても、十字の園を照らす光がある」と……

若島 松子(寮母)

職 員 紹 介



9. 15 敬老の日、園遊会、職員と奉仕者、撮影園長

バザー開かる

— 十字の園を支える会 —

十一月三日、待望のバザーを昨年と同様、市内湯沢近くの西保育園で開くことが出来ました。第一回に続いて、この日のために準備にかかった方々が殆んどではないでしょうか。特に菊作りや色紙は一年がかりの秀作といっても過ぎないものでした。

十月に入って続々とバザー品が集まってまいりました。献げられた一品一品にこめられた祈りと想いが、その表にも現われ、値段つけに集まった私共は、しばらく手がとどまり、感慨深くすこさずにはおれませんでした。始めての試みに、食堂部をも

うけました。おしるこ、おでん、カレーライス、プリン、おだんご、おぼつかない手順ではありましたが、大好評であったと思います。食券の前売、当日売りも予想以上で閉店前三十分からは、売切れ「又来年よろしく」とお願いしつづけるばかりでした。電気器具、日用品、衣類、手芸類、瀬戸物は相変わらず飛ぶようでした。今回は市内商店の協力も大きく、バザーをかざっていたいただき、収益にも力となりました。鉢もの、色紙即販も静かなブーム、文化の日にふさわしいものでした。来年はどんな鉢が並ぶでしょうと、早や夢みる人も多かつたようです。朝十時開店、三時終了、五時間の感激の奉仕、汗だくも皆様のお支えあつてのことと、一同大きな感謝をささげました。

— 純収益二〇〇、一七九円也 —

経過報告

- 九・一六 高根学園より園児三九名 名慰問 豊島・加藤両先生付添
- 九・一七 二枚橋ひまわり会員一〇二名来園
- 九・一九 御殿場小学校生徒十名

来園 員一三五名来園、職員三名、日赤献血

九・二〇 伊豆長岡教会より四名
九・二二 園長社会福祉大会出席

九・二三 林道子先生による看護に関する勉強会始める(毎週木曜日)

九・二七 裾野市老人会一七名 草取り奉仕

九・三〇 賀茂郡家庭奉仕員等 一名見学

一〇・一 お年寄りのため集會室にカラーテレビ設置

一〇・四 岡崎不二夫牧師他六名来園

一〇・五 浜松十字の園より七名奉仕

一〇・八 県東部保健婦長会他二二名来園

一〇・一一 特養研究会園長他四名出席東海清風園行

一〇・一二 第一回運動会開催

一〇・二八 県東部福祉関係民生委員一五名来園

一〇・二九 田方郡婦人連盟九二名、南伊豆町身障者団体一五名来園

一〇・二三 職員研修旅行第一陣名古屋行出発以後次々に出発

一〇・二三 千葉県勝浦市民生委

一〇・二四 園長御殿場教会にて 礼拝説教

一〇・二五 裾野市西地区婦人会 一五名来園

一〇・二六 十月誕生日会

御殿場十字の園を支える会 献金のお知らせ
46. 11. 30現在
人員 492名
延金 1,616,748円
その他多岐にお礼を
その献品が下を
力下を
お礼を
支え

富士山の雪も日増しに白さを加えて行きます。御殿場十字の園もはじめての厳しい冬を迎えようとしております。しかし、外はどんなに寒くても全国的によせられる温いお祈りと、よくきいた暖房により、ホームの中は明るさがあふれております。

クリスマスも近く、その諸準備にうれしい忙しさを覚ええます。

事務長 横山 巖